

近代京都における映画文化とそのアーカイブス

A. メンバー

【事業推進担当者】 富田美香

【学内研究協力者】 大矢敦子

【客員研究員】 上田学

B. 研究目的

本プロジェクトの目的は、主に以下4点の教育研究活動を通して、近代京都における映画文化の歴史や様相を明らかにし、そのプロセスと結果を通して映画文化のアーカイブ活動の実践と拠点を形成することにある。

- 1) ARCプロジェクト型研究でおこなってきた学術フロンティアでのマキノ映画研究、オープン・リサーチでの京都映画デジタル復元、COEでの初期映画ならびに大映京都映画研究、の各主題と方法論の深化。
- 2) 上記1)の活動を通してアーカイブした文化資源・蓄積データ（静止画、動画）について、デジタル・ヒューマニティーズの観点から研究資料としての公開手法を研究。
- 3) マキノ映画や大映作品を主な対象とし、京都で制作された映画にみられる京都・日本表象の生成・受容について、ビジュアル・スタディーズや歴史学・社会学的観点から研究。
- 4) 日本における初期映画の生成・受容様態と、映画前史メディア（錦絵・挿絵・幻燈・絵葉書・地図等）との比較研究。

上記4点の目的に対して、11年度は具体的に、

以下3点の研究計画をたてた。

I. 蓄積資料・データの制限付公開

マキノ・大映京都関係資料、京都映画人オーラルヒストリー収集映像、小型映画のアーカイブ手法調査等。

II. 日本表象に関する発表

日本映像学会大会、国際日本文化研究センターシンポジウム、EAJS International Conference 2011 in Tallinn、コロンビア大学シンポジウム、DH叢書、日韓映画史研究会等。

III. 4)の基盤調査である「日出新聞映画・芸能記事データベース（仮）」の公開

1919年～1921年（3年間）、明治期既入力分（1909年）の公開。

C. 本年度の成果

11年度は、上記I～IIIの研究計画に対して、主にIIに挙げた場を通して発表を行い、それぞれ以下の成果をあげた。

Iは、オーラルヒストリー映像の整理をすすめ、公開方法と小型映画のアーカイブ手法について、コロンビア大学、ジョージ・イーストマン・ハウス、韓国映像資料院の調査を行った。動画データの制限付公開は、内容面の注釈やファイルの細分化等の課題から更なる検証を重ねることとなったが、その他の研究成果に関してはIIで挙げたシンポジウムや研究会等で発表を行った。調査を通して専門機関との共同研究の打診を得るなど、京都

映画のアーカイブおよび研究拠点としての対外的評価を高めた。なお、これらの成果は、映像学部授業「特殊講義 映像アーカイブ」や、文学研究科講義「日本文化研究」の教育プログラムに還元した。

Ⅱについては、前項で列記した研究会等に加え、以下の成果をあげ、海外の映画研究・日本文化研究専門機関や専門家との共同研究の打診を得るなど、日本映画の研究拠点としての連携の可能性を高めた。

- ① 第2回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム（DH-JAC2011）にて発表。
- ② 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターにて報告。
- ③ コロンビア大学東亜図書館所蔵資料の調査を継続し、シンポジウムでの発表とデジタル化に関する打合せを行った。
- ④ 漢陽大学にて発表。
- ⑤ ブカレスト大学にて講演。
- ⑥ 韓国映像資料院にて講義。

Ⅲについては、以下の具体的な成果をあげ、これらのデータベースを活用した論文を発表した。

- ① 「京都日出新聞」掲載記事に基づく京都興行街調査と、大正期既入力分（1919年～1921年）の約8,000レコードの整理を終え、インターフェースの整備を行った。

URL（仮）：<http://www.dh-jac.net/db6/hinode-taisho/hyoshi.htm>

- ② 明治期既入力分（1909年）の整理と既入力分（1900年分、1213件）の追加をおこない、制限付き公開（全1603件）を開始した。URL <http://www.dh-jac.net/db6/hinodem/search.htm>

D. 論文・学会発表以外の活動の記録

- 大矢敦子、2011年4月～2012年3月：『京都日出新聞』興行情報1919年～1921年分データの整理、公開準備。
- 上田学、2011年4月～2011年10月：『京都日出新聞』興行情報1909年分の整理及び公開準備。
- 上田学、2011年11月：「京都日出新聞映画興行データベース(1908-1909)」のDHJACにおけるポスター発表（大矢敦子と共同）及びweb上での制限付き公開開始。
- 富田美香、2011年9月～12月：コロンビア大学東亜図書館にて調査・打ち合わせ。
- 富田美香、2011年12月：ジョージ・イーストマン・ハウス調査。
- 富田美香、2012年1月～3月：韓国映像資料院にて調査。
- 上田学、富田美香、2012年2月：植民地期京城地域の興行街調査。

E. 業績一覧

〈著書〉

上田学『日本映画草創期の興行と観客』早稲田大学出版部、250p.、2012年3月

富田美香, 木立雅朗, 松本郁代, 杉橋隆夫編『京都イメージ—文化資源と京都文化—』ナカニシヤ出版, p.248, 2012年3月30日, Mika Tomita, Masaaki Kidachi, Ikuyo Matsumoto, and Takao Sugihashi eds., “*Urban Image of Kyoto: Kyoto Culture and its Cultural Resources*”, Nakanishiya Shuppan, 248p., 30 March 2012

〈著書 (分担執筆)〉

上田学「映画館の〈誕生〉」岩本憲児編『日本映画史叢書 15 日本映画の誕生』森話社, pp.179-208, 2011年10月

大矢敦子「俄興行がもたらした映画受容の場への影響」富田美香, 木立雅朗, 松本郁代, 杉橋隆夫編『京都イメージ—文化資源と京都文化—』ナカニシヤ出版, pp.88-102, 2012年3月, Atsuko Oya, “The Influence of *Niwaka* Improvisational Entertainment on Movie Theatres: a Case Study on Kyoto’s Shinkyōgoku District’, Mika Tomita, Masaaki Kidachi, Ikuyo Matsumoto, and Takao Sugihashi eds., “*Urban Images of Kyoto: Kyoto Culture and its Cultural Resources*”, Nakanishiya Shuppan, pp.209-222, March 2012

Mika Tomita, ‘LES REPRESENTATIONS DU JAPON DANS LA COPRODUCTION NIPPO-GERMANIQUE *BUSHIDO* DAS EISERNE GESETZ (1924-1925, HEINZ KARL HEILAND ET KAKO ZANMU, TOA KINEMA)’, Maillard, Christine, Murakami-Giroux, Sakae, eds., “*Devenir l’Autre. Expérience et Récit du Changement de Culture entre le Japon et l’Occident*” Arles: Éditions Philippe Picquier, pp.75-88, October 2011

富田美香「戦間期日本における小型映画文化の様相—映画都市京都のもう一つの顔—」木立雅朗, 富田美香, 松本郁代編『京都イメージ—文化資源と京都文化—』ナカニシヤ出版, pp.103-118, 2012年3月, Mika Tomita, “Aspects of Small-Gauge Film in Interwar Japan: Another Face of the “Cinema City” Kyoto”’, Mika Tomita, Masaaki Kidachi, Ikuyo Matsumoto, and Takao Sugihashi eds., “*Urban Images of Kyoto: Kyoto Culture and its Cultural Resources*”, Nakanishiya Shuppan, pp.223-240, March 2012

〈口頭発表〉

【審査付き】上田学「最初期の旧劇映画と京都の都市空間—興行街の存立を手がかりに」日本映像学会第37回大会, 北海道大学 (札幌市), 2011年5月

上田学「寄席から映画館へ—近代の寄席における視覚文化とその分離—」プロジェクト研究「音楽・芸能史における芸術化の諸問題」, 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター (京都市), 2011年8月

上田学「映画草創期に韓国皇帝・皇太子を撮影した映画について」二国間交流事業共同研究「植民地期の韓国映画と日本映画の交流について」, 漢陽大学 (ソウル特別市, 韓国), 2012年2月21日

大矢敦子 “Theatrical Attractions in Films of the Onoe Matsunosuke Troupe (「尾上松之助一派の映画に見られる演劇のアトラクション性」)”, 第2回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム

(*DH-JAC2011*), 立命館大学 (京都市), 2011年11月20日

Atsuko Oya 'Onoe Matsunosuke and Materials Related to the Film, Chushingura (The Royal Forty-seven Ronin) in the Makino Mamoru Collection', *The Makino Collection at Columbia: the Present and Future of an Archive*, EALAC Lounge of Kent Hall, Columbia University (New York, USA), 11 November 2011

上田学, 大矢敦子 'Making Databases of Film Distribution Records in the Meiji and Taisho Periods: A Case Study of Shinkyogoku and Nishijin, Kyoto (「明治大正期の映画興行記録のデータベース化—京都新京極・西陣の事例」)' 第2回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム (*DH-JAC2011*), 立命館大学衣笠キャンパス (京都市), 2011年11月19日・20日 (ポスター)

【審査付き】Mika Tomita, 'Aspects of the Place and the Memory in "Ballad Film", in 1930s', *The 13th International Conference of the European Association for Japanese Studies (EAJS)*, Tallinn University (Tallinn, Estonia), 26 August 2011

Mika Tomita, 'Aspects of Small-Gauge Film Culture in Prewar Japan', *The Makino Collection at Columbia: the Present and Future of an Archive*, EALAC Lounge of Kent Hall, Columbia University (New York, USA), 11 November 2011

富田美香「帝国日本の小型映画文化と朝鮮での受容」2011年度二国間交流事業共同研究「植民地期の韓国映画と日本映画の交流について」研究会, 漢陽大学 (ソウル特別市, 韓国), 2012年2月21日

〈招待講演〉

Mika Tomita, 'Aspects of "Self" and "Other" in the Japanese Small-Gauge Film Culture during Imperial Era', *International Symposium on Japanese Studies "Self and Other in Japan—Mutual Representations"*, Center for Japanese Studies, University of Bucharest (Bucharest, Romania), 4 March, 2012

Manabu Ueda, 'Modern Cities and Filmmaking in Japan Around 1910: Differences Between Tokyo and Kyoto', *CJS's Winter 2012 Noon Lecture Series*, School of Social Work Building, Michigan University (Ann Arbor, USA), 8 March 2012

〈その他〉

《講座》

富田美香「日本の剣劇映画縦断 戦前編—侠、情、アクション—」韓国映像資料院 韓国映画史研究所 月例フォーラム『武侠叙事の横断と東アジアの想像』, 2012年3月22日

富田美香「日本の剣劇映画縦断 戦後編—侠、情、アクション—」韓国映像資料院 韓国映画史研究所 月例フォーラム『武侠叙事の横断と東アジアの想像』, 2012年3月23日

《コメンテーター》

富田美香「1950年代日本映画における戦前・戦中との連続性・非連続性」国際日本文化研究センターシンポジウム, 国際日本文化研究センター(京都市), 2011年7月30日

《その他執筆》

富田美香「現代のことば そして人生はつづく」京都新聞, 2011年5月18日

富田美香「【日本映画】百花繚乱から黄金期へ」上方芸能, 181, 2011年9月号